
2 5 3 8. 輸出貨物取扱登録（仕分け）

業務コード	業務名
A H S	輸出貨物取扱登録（仕分け）呼出し
A H S 0 1	輸出貨物取扱登録（仕分け）

1. 業務概要

保税蔵置場等に蔵置されている輸出貨物（積戻し貨物含む）について、「改装」及び「仕分け」を行う場合に登録する。

なお、他所蔵置場所に蔵置されている貨物に対して本業務を行う場合は税関への貨物取扱届となる。

（１）「輸出貨物取扱登録（仕分け）呼出し（ＡＨＳ）」業務の場合

AWB番号または未ラベル番号、仕分け数等を入力することにより、輸出貨物情報の呼出しを行う。

（２）「輸出貨物取扱登録（仕分け）（ＡＨＳ０１）」業務の場合

通関業等が保税蔵置場に蔵置されている貨物に対して、改装・仕分け等を行う場合の貨物取扱登録を行う。

なお、本業務を行った場合は、保税蔵置場管理者による「輸出貨物取扱確認登録（ＣＣＨ０１）」業務を行う必要がある。

また、取消しを行う場合は、「輸出貨物取扱取消（ＡＨＣ）」業務で行う。

改装・仕分け等の対象となる主な行為は次のとおりである。

（Ａ）取扱種別に「Ｓ」（他貨物への変更、仕分け）が入力された場合

①保税蔵置場に蔵置されている貨物について、AWB番号の変更（ラベルチェンジ）を行う。

②保税蔵置場に蔵置されている１件の貨物について、複数の貨物に分割する。

③保税蔵置場に蔵置されている未ラベル貨物について、AWB番号が決定した場合に当該番号を登録する。

④保税蔵置場に蔵置されている１件の未ラベル貨物について、複数のAWB番号が決定した場合に当該番号を登録する。

⑤輸入からの積戻し貨物について、１件の輸入のAWB*^１から１件の輸出のAWBへの変更を行う。

（＊１）輸入のAWBとは輸入業務によりシステムに輸入貨物情報が登録されているAWBをいう。

⑥輸入からの積戻し貨物について、１件の輸入のAWBを複数の輸出のAWBに分割する。

（Ｂ）取扱種別に「Ｈ」（個数の変更）が入力された場合

改装に伴う個数等の増減を行う。

（Ｃ）取扱種別に「Ｄ」（同一貨物内の仕分け）が入力された場合

保税蔵置場に蔵置されている１件の輸出等申告中または輸出等許可済の貨物について、複数の貨物に分割し、新たな搬入単位と付与された枝番の登録を行う。

（Ｄ）取扱種別に「Ｒ」（時間延長）が入力された場合

本業務により既に登録されている貨物取扱について時間延長の登録を行う。

2. 入力者

航空会社、通関業、混載業、保税蔵置場

3. 制限事項

①１業務で入力可能な仕分け後のAWB件数は最大８件とする。

②１AWB番号に付与する枝番は、本業務を行う以前に登録されている搬入単位と合わせて最大４０とする。

4. 入力条件

（１）入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

（２）入力項目チェック

（Ａ）単項目チェック

「入力項目表」および「オンライン業務共通仕様書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」および「オンライン業務共通仕様書」参照。

(3) 輸出貨物情報DBチェック

(A) 仕分け元輸出貨物情報チェック

入力された輸入表示がスペースの場合は、仕分元AWB番号について以下のチェックを行う。

- ①入力されたAWB番号に対する輸出貨物情報DBが存在すること。
- ②MAWBでないこと。
- ③手作業移行済でないこと。
- ④差止め貨物でないこと。
- ⑤取扱種別「D」（同一貨物内の仕分け）の場合は、仮陸揚貨物でないこと。
- ⑥仮陸揚貨物で混載仮陸揚貨物以外の場合は、入力者が航空会社であること。
- ⑦「混載仕立情報登録（HDF01）」業務が行われていないこと。
- ⑧搬入情報が存在すること。
- ⑨システム不参加展示場、特定輸出申告における自社施設または特定委託輸出申告におけるバスケット保税地域に蔵置中の貨物でないこと。
- ⑩仕分け元または仕合せ元のAWBでないこと。
- ⑪本業務または「輸出貨物取扱登録（仕合せ）（AHT01）」業務が行われているが、保税蔵置場によるCCH01業務が未入力の貨物でないこと。
- ⑫「輸出申告（EDC）」業務が行われた後に仕分けまたは仕合せを行った貨物について、再度仕分けを行う場合には、申告訂正が行われていること。
- ⑬入力されたAWB番号の貨物の個数が入力された取扱保税蔵置場に蔵置されていること。
- ⑭「許可・承認等情報登録（輸出保税）（PAH）」業務による以下の登録がされていないこと。
 - 「保税運送承認」
 - 「滅却承認」
 - 「亡失届受理」
 - 「その他の搬出承認」
- ⑮「許可・承認等情報登録（輸出通関）（PAE）」業務等による以下の登録がされている搬入情報でないこと。
 - 「不積返送承認」
 - 「積込港変更」
- ⑯取扱種別「D」（同一貨物内の仕分け）が入力された場合は、輸出等申告の旨が登録されていること。
- ⑰「輸出申告変更事項登録（EDA01）」業務が行われている場合は、当該業務が行われた後、「輸出申告変更（EDE）」業務まで行われていること。
- ⑱輸出取止め再輸入申告・特例輸出貨物の輸出許可取消申請事項登録中または輸出取止め再輸入申告・特例輸出貨物の輸出許可取消申請中でないこと。
- ⑲入力されたAWB番号に事故コードが登録されている場合は、税関による事故確認が行われていること。
- ⑳貨物取扱許可申請中または見本持出許可申請中でないこと。
- ㉑通関業者において取扱種別「R」（時間延長）以外が入力された場合で、入力者と登録されている通関依頼先が異なる場合は、登録されている通関依頼先の利用者と受委託関係がシステムへ登録されていること。

(B) 仕分け後輸出貨物情報チェック

入力されたAWB番号に対する輸出貨物情報DBが存在する場合は、以下のチェックを行う。

- ①MAWBでないこと。

- ②手作業移行済でないこと。
- ③差止め貨物でないこと。
- ④仕分け元貨物が仮陸揚貨物の場合は、仮陸揚貨物であること。
- ⑤H D F O 1 業務が行われていないこと。
- ⑥「貨物情報切替登録（CHG）」業務で作成された貨物の場合は、「一括搬入確認登録（B I L O 1）」業務で搬入済みとなっていること。

（４）輸入貨物情報DBチェック

入力された輸入表示が「I」の場合は、仕分元AWB番号に対して以下のチェックを行う。

- ①入力されたAWB番号に対する輸入貨物情報DBが存在すること。
- ②一般通関、AWB通関、蔵入承認、移入承認、総保入承認、輸入許可前引取承認、別送品通関許可及び展示等承認がされていないこと。
- ③仮陸揚貨物でないこと。
- ④システム外搬出貨物でないこと。
- ⑤仕分け元となっている貨物でないこと。
- ⑥保税運送申告済または承認済でないこと。
- ⑦「許可・承認等情報登録（輸入保税）（P C H）」業務による以下の登録がされていないこと。
 - 「廃棄届受理」
 - 「減却承認」
 - 「亡失届受理」
 - 「税関内収容」
 - 「現場収容」
 - 「登録情報削除容認」
- ⑧「許可・承認等情報登録（監視）（P A K）」業務による以下の登録がされていないこと。
 - 「外貨機用品積込承認（個別）」
 - 「外貨船用品積込承認」
- ⑨輸入申告済でないこと。
- ⑩「許可・承認等情報登録（輸入通関）（P A I）」業務による以下の登録がされていないこと。
 - 「蔵入承認」
 - 「移入承認」
 - 「総保入承認」
 - 「展示等承認」
- ⑪MAWBでないこと。
- ⑫差止め貨物でないこと。
- ⑬到着した個数等が突合済であること。
- ⑭「輸入貨物情報変更登録（C A I O 1）」業務等により貨物情報の訂正が保留されていないこと。
- ⑮「貨物取扱登録（改装・仕分）（C H S O 1）」業務がされている場合は、保税蔵置場による「貨物取扱確認登録（改装・仕分）（C F S O 1）」業務が行われていること。
- ⑯事故貨物の場合は、税関による事故確認がされていること。
- ⑰仕分け後貨物に事故コードが入力された場合は、登録されている事故コードとの前方一致チェックにおいて合致すること。
- ⑱スプリット貨物の場合は、全量到着済であること。
- ⑲U L Dでないこと。
- ⑳貨物取扱許可申請中または見本持出許可申請中でないこと。

（５）航空貨物取扱DBチェック

取扱種別に「R」（取扱時間の延長）が入力された場合は、以下のチェックを行う。

- ①入力された貨物取扱番号が存在すること。
- ②取扱確認がされていないこと。
- ③入力された開始年月日・時刻は事前に登録されている取扱終了年月日・時刻以後であること。

5. 処理内容

(1) AHS業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(B) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(C) 注意喚起メッセージ出力処理

登録を行うには再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして出力する。

(2) AHS01業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(B) 貨物取扱番号払出し処理

貨物取扱番号をシステムにより払い出す。

(C) 未ラベル番号払出し処理

貨物識別に「L」(未ラベル)、かつAWB番号が入力されていない場合は、未ラベル番号をシステムで払い出す。

(D) 輸出貨物情報DB処理

(a) 時間延長の場合

時間延長が入力された旨の登録を行う。

(b) 時間延長以外の場合

①仕分け元及び仕分け後の輸出貨物情報に、貨物取扱(仕分け)の旨を登録する。

②仕分け後の輸出貨物情報が事前に作成されていない場合は、新たに作成するとともに貨物取扱の旨を登録する。

③仕分け元及び仕分け後の輸出貨物情報に取扱確認中の旨を登録する。

なお、保税蔵置場管理者によるCCH01業務が行われるまでは、AHC業務及び分割搬入の場合の搬入確認業務のみを受け付ける。

④仕分け後の輸出貨物情報にAWB番号またはシステムにより払い出された未ラベル番号を登録する。

(E) 輸入貨物情報DB処理

(a) 時間延長の場合

①時間延長が入力された旨の登録を行う。

②時間内から時間外への延長が行われた場合、保税蔵置場料金計算機能の取扱件数の加減算処理を行う。なお、輸入貨物が特殊貨物の場合は、加算処理は行わない。(b) 時間延長以外の場合

①輸入貨物情報DBの情報を輸出貨物情報DBに登録するとともに、移し換えた旨を登録する。

②保税蔵置場料金計算機能の取扱件数の加算処理を行う。なお、輸入貨物が特殊貨物の場合は、加算処理は行わない。

(F) 航空貨物取扱DB処理

(a) 時間延長の場合

時間延長が入力された旨の登録を行う。

(b) 時間延長以外の場合

入力された貨物取扱情報を登録する。

(G) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

(1) AHS業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
輸出貨物取扱登録（仕分け）呼出し結果情報	なし	入力者

(2) AHS O 1 業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
輸出貨物取扱登録（仕分け）結果情報	なし	入力者
貨物取扱控情報 （輸出） B	なし	入力者
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （１）入力者が取扱保税蔵置場を管理する利用者以外である （２）保税蔵置場に向けて出力の旨が登録されている	取扱保税蔵置場
貨物取扱記録情報 （輸出） B	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （１）貨物が他所蔵置場所に蔵置されている	他所蔵置場所の管轄税関（保税担当部門）
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （１）貨物が他所蔵置場所に蔵置されている （２）貨物が仮陸揚貨物である	他所蔵置場所の管轄税関（監視担当部門）
	以下の条件をすべて満たすとき、出力する （１）貨物が他所蔵置場所に蔵置されていない （２）貨物が仮陸揚貨物である	取扱保税蔵置場の管轄税関（監視担当部門）
搬送指示情報 （輸出） B	搬送指示情報出力の旨が登録されている場合	取扱保税蔵置場

7. 特記事項

システム不参加展示場、特定輸出申告における自社施設または特定委託輸出申告におけるバスケット保税地域に蔵置している貨物については、本業務の入力対象外とする。